

春の永代経のご案内

長善寺

今年も雪も少なく、桜の花も例年よりも早く咲いています。春の永代経のご案内をさせていただきます。

この春、この素敵なお言葉に出会わせていただきました。

「お念仏申してわしが喜ぶと阿弥陀様も喜んでくださるかもしれないと思ってなあ。阿弥陀様、わしにお念仏を称える身にさせてください。ありがとうございます。どうぞいただきます。子どもながら嬉しゅうてお礼申し上げたことがあった。」(山田アサエ様のお言葉より)

最初読んだ時、どういう意味か理解できませんでした。が、考える前に涙が溢れてきました。

「子どもながらに嬉しゅうてお礼申し上げたことがあった」この喜びを八十数年も忘れずにいたこと。そして、最後まで、お念仏を称える身にさせて頂いたことを感謝していたことを。この言葉が今もしっかりと生きていることを。

かつて、私たちの先祖がこうやってお念仏を相續してきたことを思うと、我が身の情けなきに思い至ります。念仏の道とはどういう道であったのか。その道を歩んでこられた方たちが私に示してくださいましたのに。

そのことに気がつかない凡愚でした。やっと気づいて同じ道を歩ませていただくことを、そして、その道はお浄土に確実に至る道であることを、共に喜びたいと思います。

称名



長滝から見た大日嶽。長滝寺から見ると大日嶽が目の前にそびえています。大日嶽は長滝寺の本尊大日如来から来ています。長滝寺の修験道の中に大日嶽をめぐる道があったのです。

一、日時 四月三十日(土)

日中 十時

粗食ながら昼食を準備しています。

速夜 一時

お勤め 自坊にて

日中：正信偈念仏・和讃・法話「一形・一生・一期」

速夜：大無量寿経・和讃・法話「高僧和讃を歌いましょう」